

【利根地区】

地区別の主なご意見・ご質問と回答・見解

(統合全般)

ご意見・ご質問	回答・見解
<p>小学校4年生から5年生のタイミングが大きな成長段階の変化ということだが、その時期に学校や環境が変わることが子供にとって大きなストレスになるのではないか。</p>	<p>様々のご意見があることを認識いたしました。 PTA代表や区長などで組織された審議会からの答申を踏まえて、特に小学校低学年のスクールバス通学等に配慮しつつ、また、成長段階において重要な視点となる“学校と地域の連携・協働”を検討し、素案としてお示ししたものです。</p>
<p>下級生は、5・6年生の姿から学ぶことが多く、下級生の手本となる姿勢がある。また、5・6年生が多感な時期に違う環境になると精神的な負担が大きいのではないかと心配である。</p>	<p>白沢地区と利根地区に義務教育学校を設置した場合には、小学生と中学生という区切りはなくなり、1年生から9年生までを「4-3-2」制とすることから、5年生のタイミングで義務教育学校へ通学することとしたものです。</p>
<p>利根小学校地区の子供たちは、6年生まで利根小学校に通ってほしい。5年生から白沢へ移動する理由に納得できるものがない。 利根小学校は校舎が新しく、小規模特認校とすることは出来ないのか。 義務教育学校へ多くの子供を集めることへの不安がある。年齢差が広がることから、いじめが発生する率が上がるのではないか。小規模学校の良さがあると思う。</p>	<p>なぜ義務教育学校なのかというご意見もありますが、義務教育学校とすることで、現在は、一部、他校の教員が兼務する授業が存在しますが、これが自分の学校の子供たちに対する日常的な指導となり、教職員の連携や情報共有、教科担任制は導入しやすくなります。また、1～4年生では基礎・基本の定着を、5年生以降は学習内容が高度化するため、小規模でも義務教育学校とすることで、中学校教員の専門性を生かした質の高い学びを提供することが可能となり、進学や学習への不安感の解消につながります。</p>
<p>白沢中学校に利根中学校の統合は賛成だが、義務教育学校には反対である。体格差があり、物事の判断もまだ幼い時期に小中学生を一緒にすることは、デメリットが大きいと思う。また、統合により白沢中学校を改修することのことだが、中学生は白沢中学校を、小学生は白沢小学校と利根小学校を使えば改修する必要はないと思う。</p>	
<p>地区から学校がなくなることを悲しむ方がいるのもわかるが、子供のことを考えるなら、小学校1年生から白沢の本校で一緒の方がいいと感じる。</p>	
<p>小学校5年の時に環境が変わるより、どちらかの校舎で普通の6年制の学校生活を送らせた方がいいと感じている。</p>	
<p>白沢小中学校は、地形的に義務教育学校でなく、小中一貫教育ではダメなのか。統合するなら利根小を分校として残すのではなく、全員を白沢小学校に統合した方が良い。利根地区の児童人数の減少や男女比等から早めの統合を願う。利根小学校を白沢小学校と利根小学校の1～4年生が使う校舎とし、高学年から利根の児童が白沢の地域の方と交流することもできるのではないか。新しく建築した利根小学校を分校にし、今度は義務教育学校のための増築しお金をかけるのではなく、違う形で未来の子供たちに使えないものなのか。</p>	
<p>利根小学校を残す利点がわからない。1番新しい学校なので、廃校にできないという理由であれば、子供に関係ないと思う。観光に繋がるような</p>	<p>①小学校では長時間に及ぶスクールバス通学等を避けるため、②成長段階を考慮し、地域で子供を育てる環境を重視するため、この二つの理由に</p>

【利根地区】

地区別の主なご意見・ご質問と回答・見解

施設や高齢者施設等への再利用を早く検討した方がいい。	よる統廃合に係る基本方針から、各地区に小学校を残そうとしているものです。
沼田市の中でも特に利根地区の人口が減少しているのか。納得できるデータが見たい。	参考として、令和7年度から令和12年度までの利根小学校の新入学生の見込人数は、各年度5人から9人であり、男女比に極端な偏りがある年度もあります。
群馬県外だが、小学校で先進的な取り組みをして、移住が増えている地域がある。利根小学校の特色を生かして、もっと何かできると思う。	利根地区には都市部にはない豊かな自然があり、子供が育つ上で恵まれた環境があると考えています。各地域の文化・地理・歴史・産業等の教育資源を積極的に活用した教育活動を展開できるよう工夫してまいります。
利根地区の10年程前に新校舎を建てる際に、少子化が進む中で新しい施設を建築することに対して、疑問を持つ意見が出た。 白沢中学校は、義務教育学校とするためにお金をかけて改修しても、10年後はどうなのだろう。	利根小学校統合時に、様々なご意見があったことは承知しておりますが、急速に進む少子化の中、今、子供たちに何ができるのかを考える必要があります。整備については、必要最小限の費用となるよう考えてまいります。
小学校の統合案では、学校の種類が4つあるが、住んでいるところで学校が決まるのでは多様性の意味がないのでは。全て選択できるようにするか、住んでいる地域で教育の質が変わらないようにすべきではないか。	子供たちにとってより良い教育環境を整備することを最優先に考え、様々な理由による教育格差が生じないように、学校、保護者、地域、関係機関等で連携・協働して取り組んでまいります。
地域に学校がなくなる可能性のある統廃合の問題に、義務教育学校を試みる問題まで関わって、問題が複雑化している。義務教育学校に魅力は感じられない。沼田市一斉に学校の統廃合再編を急ぐことに無理があると思う。	本市においては、少子化による児童生徒数の減少、人口減少や高齢化による地域活動の縮小など、教育環境の見直しが必要となっていることから、市全域での統廃合について、素案として示させていただきました。
今後の意思決定のスケジュールについて、どのようなメンバーでいつまでに決定するのか。	説明会でいただいたご意見を参考に計画を策定・公表し、パブリックコメントによる意見を募集します。 パブリックコメントでは、いただいた意見の件数によっては回答にある程度の期間を要するため、意思決定の具体的な時期は回答していませんが、最終的には、市議会の議決を経て、市として決定していくこととなります。

(統合時期)

ご意見・ご質問	回答・見解
利根小学校は、既に複式学級があるが、義務教育学校への統合がなぜ令和13年度なのか。	基本設計及び実施設計に2年、改修工事に2年、計4年の時間が必要であることから、令和13年度に義務教育学校を設立する素案としています。
利根町と白沢町の子ども数の現状、統合した後の児童生徒数、統合しなければならない限界の見極め、令和13年度からとした理由を知りたい。	学校毎の児童生徒数の見込み人数については、沼田市ホームページに掲載した「沼田市立小中学校適正規模・適正配置基本方針」からご確認いただけます。現在、利根小学校と多那小学校は、10人未満の学年が存在

【利根地区】

地区別の主なご意見・ご質問と回答・見解

	し、今後、入学者のいない年度も見込まれるなど児童数の減少が進んでおります。
多那小学校は、今の素案で良いので速やかに統合出来ると助かる。	多那小中学校は、令和8年度からの統合案となっていることから、決定された場合には、早急に統合準備を進めることとなります。

(教育環境・学校間交流)

ご意見・ご質問	回答・見解
白沢小中学校への統合になった時に、子供の気持ちの負担を考えて、白沢小中学校へ慣れている先生の配置を考慮していただけるとありがたい。	児童生徒の精神的負担をできるだけ軽減し、学校生活を円滑に送れるような教員配置を県教育委員会に働き掛けていきます。
統合後の生徒の心や勉強面等でのケアは、きちんとしてもらえるのか。	適切な学習指導や生活指導、教育相談等を充実させるため、児童生徒に寄り添いながら丁寧な対応に努めます。
中学校統合について、中学校2・3年生で統合になる学年は、学校によって部活の実力差があると思うので心配である。 中学校3年生は受験生で多感な年頃でもある。統合により校舎もクラスメイトも環境が変わるので、細やかな配慮をお願いしたい。	環境が大きく変化するため、子供たちの不安を理解し、取り除いていくことが必要です。統合前から学校間の合同授業や交流事業を計画的に実施し、子供たちの不安解消に努めるとともに、新たな学校生活に早くなじめるような取組を行ってまいります。
義務教育学校となる場合、開校となる前から利根小学校と白沢小学校の交流を多く行ってほしい。義務教育学校への移行する際のストレスを最小限に出来るよう努力していただきたい。	

(保護者・地域への説明)

ご意見・ご質問	回答・見解
意思決定については、パブリックコメントへの回答ということだが、今回のように対話の場はないのか。	説明会やアンケート等でご意見をいただき、本素案を修正した上でパブリックコメントを行うとともに、今後も地域の皆様の声を基により良い計画策定に努めてまいりたいと考えております。
統廃合になった際の先生の異動やスクールバスのルート等に関連する事項があれば全体的なイメージがつくと思った。 このような説明会を高頻度で開催して、意見を聞いていただきたい。	スクールバスのルートは、児童生徒の居住地などを含めて検討する必要もあり、現段階での具体的なイメージを提示することは難しいと考えます。
利根地区では、沼田市に勤める方が多いので、子供が体調不良の時は、通院を考えると白沢の学校の方が良いのではないのか。	体調不良時の対応については、家庭によって状況が様々だとは思いますが、参考にさせていただきます。
未就学児の保護者は、説明会開催が紙のみの配布だったため、動画が公開されている事を知らない人も多いと思う。未就学児の家庭への情報発信やアンケートの実施を希望する。	未就学児の保護者への情報発信等については、ご意見を参考にさせていただきます。

(その他)

【利根地区】

地区別の主なご意見・ご質問と回答・見解

ご意見・ご質問	回答・見解
<p>根利地区は現在の学区は利根だが、元々は違った。多那の学区に変えてはどうか。</p>	<p>根利地区の小中学生の通学手段は検討しますが、学区の見直しについては、ご意見を参考にさせていただきます。</p>
<p>義務教育学校になったら学校名は何になるのか。</p>	<p>今後の検討事項になります。</p>
<p>白沢小学校と白沢中学校の校舎をつなげる改修になるのか。</p>	<p>基本的には、白沢中学校の学校施設を改修する予定ですが、小学校のプールや体育館等、使用できる施設は、義務教育学校になっても使用したいと考えています。</p>
<p>審議会から答申書が提出されるまでの議論の根拠となるデータや学びについてのデータをお示しいただきたい。</p>	<p>審議会での議論の内容については、資料を含め沼田市ホームページで公表しております。</p>
<p>「適正規模」について、データや実例を元に再考の方がいいと思う。「主体性を重視した学び」や「個別最適な学び」は、少人数でより実施しやすい面が大きいと考える。統廃合ではなく、各地区の学校は残したまま、義務教育一貫校にするのがいいと思う。学年を超えた縦割りの学級で体験型・プロジェクト型の学びにしていくのはどうか。</p>	<p>義務教育学校には、小学校と中学校合わせて6校が集結する予定でありませんが、小規模校となる見込みです。 少子化の現状を踏まえ、教育課程や指導の一貫性の確保、一定規模の児童生徒数の確保及び教職員の配置に加え、きめ細かな指導・支援による学力向上、異学年交流の促進、保護者や地域との協働関係の強化などの効果が期待できます。</p>
<p>移行の際の体操着等の買い替え等にも配慮いただきたい。小学校から中学生のリュックタイプの通学カバンを採用している学校もあるので参考にしてみてもどうか。</p>	<p>小中学校統廃合の枠組みが決まり次第、通学カバン等の検討も進めることになると考えています。</p>